

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年5月28日

BMJ:米国退役軍人におけるワクチン接種の有無別新型コロナ予後：デルタ株、オミクロン株流行時

## 【松崎雑感】

新型コロナワクチンを2回接種すると、接種ゼロの人々とくらべて、感染した場合の死亡率が5分の1に減ることが論証されました。

命を守るためには、新型コロナワクチンを受けましょう。

# 米国退役軍人におけるワクチン接種の有無別新型コロナ予後：デルタ株、オミクロン株流行時

Bohnert AS, Kumbier K, Rowneki M, et al. Adverse outcomes of SARS-CoV-2 infection with delta and omicron variants in vaccinated versus unvaccinated US veterans: retrospective cohort study. *BMJ*. 2023;381:e074521. Published 2023 May 23. doi:10.1136/bmj-2022-074521

## 目的

デルタ株およびオミクロン株流行時の新型コロナ感染による重症化と死亡がワクチン接種の有無およびワクチン種類でどのように変わるかを検討した。

## 方法

後顧的コホート調査。対象は米国退役軍人医療データ（平均年齢59.4才。87%が男性）。ファイザービオンテックワクチン、モデルナワクチン、ヤンセンワクチン接種の有無別解析。新型コロナ感染判明から30日以内の入院、ICU治療、人工呼吸器治療、死亡リスクを算定。

## 結果

1回以上ワクチン接種をした人々は、デルタ株流行期に感染した人々の47.6%、オミクロン株流行時に感染した人々の72.6%。年齢、基礎疾患などを調整した結果、デルタ株流行期では、ワクチン接種なし群に比べて、2回ワクチン接種をした人々は入院リスクが59%低下、ICU治療が67%低下、人工呼吸器治療が73%低下、**死亡が79%それぞれ有意に低下していた**。（注：原文はワクチン未接種群と比較した2回接種群のリスクを表示している。ワクチン2回接種が未接種群と比べてどれくらいリスクが減るかという表現の方がわかりやすいため記述を変更）

オミクロン株流行時では、ワクチン接種なし群に比べて、2回ワクチン接種をした人々は入院リスクが40%低下、ICU治療が43%低下、人工呼吸器治療が30%低下、死亡が49%それぞれ有意に低下していた。ヤンセンワクチンはmRNAワクチンよりも若干効果が落ちていた。

## 結論

年齢、背景疾患がさまざまでも、退役軍人の医療データによれば、新型コロナワクチン接種者は、未接種者よりも、新型コロナ感染から30日以内の重症化、死亡リスクが明らかに減っていた。